

鳥羽市高齢者福祉計画

第9期介護保険事業計画（素案）

（概要）

基本理念

老いても生き生き鳥羽
～最期まで自分らしく暮らし続けられるまちへ～

計画の全体像

第1章

計画策定にあたって

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|-----------|
| 第1節 | 計画策定の趣旨 | 第5節 | 計画の期間 |
| 第2節 | 鳥羽市における地域共生社会実現に向けて | 第6節 | 策定の手法 |
| 第3節 | 第9期計画の方向性(国の基本的な考え方) | 第7節 | 日常生活圏域の設定 |
| 第4節 | 計画の位置づけ | | |

第2章

鳥羽市の高齢者福祉の現状

- | | | | |
|-----|---------------|-----|-----------------|
| 第1節 | 統計からみる鳥羽市の状況 | 第4節 | アンケート調査結果からみる現状 |
| 第2節 | 要支援・要介護認定者の状況 | | |
| 第3節 | 将来推計 | | |

第3章

基本的な方向性

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|-------|
| 第1節 | 基本理念 | 第3節 | 計画の体系 |
| 第2節 | 基本理念を達成するための方向性 | | |

第4章

施策の展開

- | | |
|-----|---------------------|
| 第1節 | 地域で支えあう生き生きとしたまちづくり |
| 第2節 | 高齢者が安心して暮らせるまちづくり |
| 第3節 | みんなで支える介護保険 |

第5章

介護事業費及び介護保険料

- | | |
|-----|------------|
| 第1節 | 介護保険事業費の推計 |
| 第2節 | 介護保険料の設定 |

第6章

計画の推進に向けて

- | | |
|-----|---------|
| 第1節 | 計画の推進体制 |
| 第2節 | 計画の進行管理 |

第2章 鳥羽市の高齢者福祉の現状

人口等の状況

- ・総人口は年々減少傾向。年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向になっているのに対し、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向になっていることから高齢化率は年々上昇している。
- ・高齢化率を三重県、全国と比較すると、三重県・全国を大きく上回っている。
- ・要支援・要介護認定者数、認定率はともに平成30年をピークに減少している。

■調査設計

- ・調査対象者：市内に住民登録がある、要介護1～要介護5を除いた65歳以上の高齢者（無作為抽出）
- ・調査時期：令和5年1月10日～2月24日
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収

■回収結果

調査対象者（配付数）	有効回収数	有効回収率
2,000	1,069	53.5%

■調査結果

（日常生活について）

- ・食品・日用品の買い物に不便を感じるかについて、鏡浦地区、離島地区では「はい（不便を感じる）」の割合が他の地区に比べて高い。
- ・食品・日用品の買い物で困っていることについては、「近所に買い物する場所がない」「重い荷物が持てない」が高い。地区別にみると、鳥羽地区、鏡浦地区、長岡地区では「近所に買い物する場所がない」が半数以上となっており、他の地区に比べて、ニーズが高い。
- ・買い物環境の改善のために望むものについては、「移動販売」「お店への送迎」「宅配サービス」が高い。

（地域活動について）

- ・グループ活動への参加者としての参加意向について、『参加の意向あり』が約半数を占めている。
- ・参加したくない理由については、「体力が追いつかないから」「人前が出るのがおっくうだから」「仕事をしているから」が高い。
- ・グループ活動への企画・運営としての参加意向については、参加者としての意向に比べ、『参加の意向あり』が低い。

（在宅医療について）

- ・最期を迎える場合、どこで看取られることを希望するかについては、「自宅」での看取りの希望が約5割と高い。
- ・自宅で最期まで療養できない理由については、「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」が高い。
- ・今後介護が必要となったとき、どこで生活したいかについては、いずれの地区でも「自宅や今の地区で、支援を受けながら生活したい」が高い。

アンケート調査結果

第3章 基本的な方向性

地域包括ケアシステムの構築に向け、第6期計画を準備期、第7期計画を始動期、第8期計画を展開期、第9期計画を定着期と位置づけ一体的に策定していきます。

基本理念を達成するための方向性

○ 最期まで自分らしく暮らせるために介護予防を推進

- ・高齢者が地域で、役割を持ちながら介護予防・健康づくりに取り組めるよう、一般高齢者には、体操 DVD の配布と支援等、介護が必要になるおそれのある高齢者に対しては、「通所型サービスC（運動・口腔・栄養）」の開催や「自立支援型地域ケア会議」の開催等、要介護状態の高齢者には、医療関係者と介護関係者が連携しサービスが提供できるよう「在宅医療・介護連携事業」等を進めていきます。

○ 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進

- ・認知症への理解を推進するために、引き続き認知症サポーター養成講座や認知症サポーターステップアップ講座を開催し、地域で認知症サポーターが活躍できる仕組みづくりを推進します。
- ・ステップアップ講座を受講したサポーターを中心に近隣で認知症のかたの見守り・声かけ、話し相手等の生活面の早期からの支援等を行う「チームオレンジ」の活動の場を作り、認知症のかたやその家族も一員となり、助けあいの場となる地域づくりを推進していきます。

基本目標1 地域で支えあう生き活きとしたまちづくり

- 多様化する住民ニーズに対応できるよう、地域包括支援センターの体制強化や保健・医療・介護・福祉との連携の強化などを通じて、地域包括ケアシステムのさらなる充実に努めます。また、家族介護者支援のニーズを早期に発見するため、関係機関等と連携し、抱える負担の軽減や複雑化した課題へ対応できる支援の充実に図ります。

- (1) 自立支援・介護予防・重症化防止の推進
- (2) 在宅医療・介護連携の深化・推進
- (3) 地域共生社会実現に向けた協働・連携
- (4) 地域包括支援センターの体制強化

基本目標2 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

- 認知症の症状に合わせた支援のあり方や認知症に関する理解の促進、認知症を早期発見・対応できる体制づくりに努めます。また、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることができるよう、災害時における支援体制の強化や防犯対策、交通安全対策を推進します。

- (1) 認知症施策の推進
- (2) 権利擁護の推進
- (3) 高齢者福祉サービスの深化・推進
- (4) 災害や感染症対策に係る体制整備

基本目標3 みんなで支える介護保険

- 高齢者が安心して生活できるように、介護保険サービスの充実に図り、安心してサービスを利用できるよう、積極的な情報提供や資質、生産性の向上などに取り組めます。また、支援を必要とする高齢者が、地域で安心して生活できるよう、多様なサービス主体による多様なサービスの確保を図ります。

- (1) 介護保険サービスの確保・維持
- (2) 生活支援・介護予防サービスの確保
- (3) 介護保険サービスの適正な利用の促進
- (4) 介護保険の業務効率化の取り組み

計画の体系

第4章 施策の展開

基本目標1
地域で支えあう生き活きとしたまちづくり

(1) 自立支援・介護予防・重症化防止の推進

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加が見込まれることから、高齢者が社会から孤立することなくつながり、自分らしく生き活きと地域や家庭で生活できることが望まれます。

元気であっても要介護状態であっても重症化を予防し、自分の健康は自分で守り行動できる意識や知識が持てるよう、高齢者や関係団体、介護事業所に対し介護予防事業や地域リハビリテーション活動支援事業を展開していきます。また、高齢者や地域のかたとともに運動や体操を活用した集いの場を拡充していきます。さらに今後は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体化」の取り組みを進め、きめ細やかで切れ目のない支援を行うよう努めます。

(2) 在宅医療・介護連携の深化・推進

重度の要介護状態や認知症になっても、必要な医療や介護サービスなどを活用し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう支援していきます。また、自らが希望する医療やケアを受けるために、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話しあい、共有できる機会が増えるよう充実を図っていきます。さらに、医療関係者と介護関係者が協働・連携し、医療と介護を一体的に提供できるよう推進します。

(3) 地域共生社会実現に向けた協働・連携

少子高齢化の進行や多様化する介護ニーズにより支援すべき幅が広がっています。ヤングケアラーや8050問題が近年では社会問題となっており、家族介護者の支援や高齢者の希望に沿える支援の提供を地域全体で行っていく必要があります。「地域共生社会」の実現に向け、高齢者だけでなく家族介護者の負担軽減や孤立防止に繋がる支援の強化に努めます。また、高齢社会の一層の進展により、身寄りをなくしたり、住まいの確保が難しくなったりと様々な生活困難を抱えるなどして、在宅生活が難しくなる高齢者世帯が増加していることから、高齢者向けの住まいや住まい方などに関する情報提供、相談体制の充実を図ります。加えて高齢者の生活支援のサービス体制整備を推進していく生活支援コーディネーターと協働し、多様なサービス提供主体等と地域における課題の共有ができる場の開催や連携体制の充実を図ります。

(4) 地域包括支援センターの体制強化

地域包括支援センターは、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、①介護予防ケアマネジメント業務、②総合相談業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント業務の4つの事業を基本機能として担います。

本市では、第6期計画からは「介護予防・日常生活支援総合事業」「在宅医療・介護連携事業」「認知症施策」、第7期からは「地域ケア会議の充実」、第8期からは「自立支援・介護予防、重症化防止の推進」「成年後見制度利用促進」を上記基本機能に加え事業を展開しています。

令和4年12月に取りまとめられた「介護保険制度の見直しに関する意見」（社会保障審議会介護保険部会）では、今後の高齢化の進展などに伴って増加するニーズに適切に対応する観点から、地域包括支援センターの機能や体制の強化を図ることに加え、障害福祉や児童福祉などの他分野との連携を促進していくことが必要である旨が明記されています。

本市では、人口減少・少子高齢化が顕著であり、今期計画の「基本理念を達成するための方向性」を推進していくために、様々な事業の深化・充実、他部署との連携が必要となることから、その役割を担う地域包括支援センターの充実を図っていきます。

第4章 施策の展開

基本目標2

高齢者が安心して暮らせるまちづくり

(1) 認知症施策の推進

認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くのかたにとって身近なものになっています。

認知症になっても、重症化を予防しつつ、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともに住み慣れた地域で尊厳を持ち安心して暮らし続けられるように、認知症の人や家族の視点を重視しながら施策を推進していきます。

また、今後、国により策定される「認知症施策推進基本計画」の内容を踏まえて、認知症施策を展開していきます。

(2) 相談業務・権利擁護の推進

高齢者への虐待防止のため、「高齢者あんしん見守りネットワーク」を活用し、関係機関・団体や地域との連携により高齢者虐待のサインの早期発見及び早期対応ができるよう努め、本人および養護者に対する総合的な支援を行います。

また、高齢者の尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう、「成年後見制度利用促進基本計画（市町村計画）」について定めます。

さらに、令和6年度から全ての介護サービス事業所において虐待防止規定設置が義務化されることから、専門的な人材の資質の向上に向けて支援を行います。

(3) 高齢者福祉サービスの深化・推進

日常生活に不安を抱えている高齢者などが、住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることができるよう、ニーズを踏まえた新規事業の創出や既存サービスの見直しを行い、質の高い高齢者福祉サービスの提供に努めていきます。

(4) 災害や感染症対策に係る体制整備

近年の災害発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、災害時に支援が必要な高齢者などが安心して生活できるよう、日頃より介護事業所や関係課などと連携し有事におけるリスク管理に努めていきます。

基本目標3

みんなで支える介護保険

(1) 介護保険サービスの確保・維持

中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込等を踏まえ、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、ニーズに応じたサービス提供が受けられるよう体制の充実を図り、必要な時に必要なサービスが受けられる環境整備に努めます。

(2) 生活支援・介護予防サービスの確保

制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取り組みを促進するため総合事業の充実を推進していきます。

(3) 介護保険サービスの適正な利用の促進

介護保険サービスの適正な利用を推進するため、これまでの給付適正化主要5事業を3事業に再編し事業の重点化・内容の充実・見える化を図ることで、より効果的・効率的に事業を実施していきます。

(4) 介護保険の業務効率化の取組

2040年に向けて生産年齢人口の減少と高齢化の進展に伴う介護ニーズの増大が見込まれる中、介護現場の生産性向上の取り組みは、利用者に対するサービスの質の向上等が見込まれるとともに、働く環境の改善等により介護現場の職員の負担軽減等にもつながることから、三重県とも連携を図り、介護現場の業務効率化に取り組んでいきます。